

# 北部土木事務所だより

第3号 令和2年3月10日 発行

## 1. 事務所からのお知らせ

### (1) 台風19号による被災箇所の災害査定が終了しました

昨年10月の台風19号により被災した県管理の道路や河川等の被災箇所について、昨年12月から今年2月上旬にかけて災害査定が行われ、道路・河川等98箇所、約39億円が査定決定されました。

今回の災害査定では、被災箇所が多く、早期復旧に向け年度内に査定を終了させる必要があること等から、国土交通省からの通知等を踏まえ、効率化（簡素化）を適用し査定に臨みました。

今後、早期復旧に向け、現地測量や詳細設計の実施及び国との設計協議を行い、順次工事を発注して参ります。



災害査定(机上査定)の状況

工種別査定決定状況について

| 工種 | 路線・河川数 | 査定決定箇所数 | 決定額(百万円) |
|----|--------|---------|----------|
| 道路 | 4      | 8       | 285      |
| 河川 | 27     | 87      | 3,505    |
| 砂防 | 2      | 3       | 107      |
| 合計 |        | 98      | 3,897    |

### (2) スマイルサポーターと意見交換会を開催しました

県管理の道路や河川において、日頃清掃や美化活動に御尽力いただいているスマイルサポーターの皆様との意見交換会を2月25日に開催しました。

スマイルサポーターの皆様から日頃の活動状況を報告いただくとともに、意見交換では活動等についての御意見や御要望等をいただきました。皆様からいただいた御意見等を踏まえ、今後ともより良い活動環境づくりに取り組んで参ります。



意見交換会の様子



ご出席いただいた皆様

## 2. 特集

# 主要地方道 古川松山線 下中目（志田橋）道路改良事業が完了しました ～これまでの事業の歩みをふりかえって～

現在の志田橋が整備される前の旧志田橋は、昭和33年の完成から50年以上が経過し、老朽化が顕著で幅員も狭く、歩道もないこと等から、安全で快適に通行できる新しい橋の架換えが求められました。県では、平成16年度よりPI（パブリック・インボルブメント）を導入し、新しい橋の架換え位置や橋に取り付く道路ルート等の検討に、地域の皆様や学校・運輸等の関係者の参加によるワークショップ等を取り入れ、御意見や御提案等をいただきながら計画策定を進め、平成20年度に新しい橋の位置や取り付け道路のルート等を決定しました。



(旧志田橋)通行状況



(旧志田橋)狭い幅員状況



(旧志田橋)橋面の劣化状況



ワークショップや懇談会等の開催状況

ワークショップの検討経過等をチラシに掲載し  
地域や関係機関の皆様にご配布しました

### 計画平面図

下中目（志田橋）道路改良事業区間 L=2,300m



新しい橋の工事は、用地買収が完了した平成21年度から始まりました。

平成23年3月の東日本大震災では、旧志田橋が被災したため、補修が完了するまで一時期間通行止めとなったり、鳴瀬川の堤防が被災するなど新しい橋の架換え工事に影響を及ぼしました。

震災後、新しい橋の架設や取り付け道路の整備等について、施工業者等の御尽力等により工程を進捗させることができ、着工から約6年後の平成28年3月に供用開始を迎えることができました。



志田橋架設完成状況



志田橋開通式(平成28年3月12日)＜地域の多くの皆様が渡初めに参加されました＞

平成28年度からは、旧志田橋の撤去や新しい橋の周辺における関連道路の整備等を進めてきましたが、今春全ての工事を完了することができました。

これまで、新しい橋梁の架換えルート検討や用地の御協力等、地域の皆様や関係された皆様に改めて深く感謝申し上げます。



古川側(下流側)の道路整備状況



松山側(下流側)の道路整備状況



松山側(上流側)の道路整備状況

志田橋周辺道路の整備状況(令和2年3月撮影)

＜P I (パブリック・インボルブメント) とは＞

施策立案や計画策定時において、地域住民等に施策や計画に関する情報を公開し、住民等から広く意見等を伺う機会を設け、施策や計画に反映させる方法

### 3. 主要事業の取り組み状況

令和元年度における主要事業の取り組み状況を紹介します。

工事期間中は通行規制等により、現場近くにお住まいの皆様や通行された皆様に御不便をおかけいたしました。工事への御協力・御理解につきまして、改めて厚く御礼申し上げます。

#### (1) 河川整備・管理について

##### ① 大江川床上浸水対策特別緊急事業<大崎市古川穂波～竹ノ内地内>

平成27年9月の関東・東北豪雨により、大崎市古川西部の沿川市街地は大規模な浸水被害が発生したことから、現大江川の西側に大江川捷水路の整備を進めております。

今年度は、JR陸羽東線との交差部の函渠工や国道347号橋梁が完了するとともに、護岸工等を推進しました。今後、上流部の現大江川との分水施設整備に着手するなど、令和2年度完了を目指し整備を進めて参ります。



JR陸羽東線との交差部の函渠工施工状況



国道347号橋梁の完成状況

お問い合わせ：河川砂防第2班 0229-91-0747

##### ② 堆積土砂撤去・支障木伐採について

流下能力を確保し、洪水時の沿川地域における浸水被害防止に向け、河道内の堆積土砂や支障木が顕著な区間における撤去作業を推進しております。今年度は、多田川における堆積土砂撤去、出来川や旧迫川では支障木伐採を実施しました。



着手前



完成

堆積土砂撤去状況  
(一級河川鳴瀬川水系多田川:加美町)

支障木伐採状況  
(一級河川北上川水系出来川:涌谷町)



着手前



完成

お問い合わせ：  
河川砂防第1班 0229-91-0736  
河川砂防第2班 0229-91-0747

### ③ 土砂災害警戒区域等の早期指定に向けた基礎調査結果の住民説明の実施

土砂災害から住民の人命と財産を守るため、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」（平成13年4月1日施行）に基づき、当管内においても土砂災害警戒区域等の指定に向けた取り組みを推進しています。

今年度、大崎市や涌谷町など146箇所で実施してきた基礎調査が完了したことから、昨年11月から今年1月にかけて6会場において、調査結果等に関する住民説明会を開催し、149名の皆様に御出席いただきました。改めて深く感謝申し上げます。関係市町から意見聴取を行うなど手続きを進め、区域等の早期指定を目指します。

お問い合わせ：河川砂防第1班 0229-91-0736



住民説明会の状況(大崎市岩出山地区・スコレハウス)



住民説明会の状況(涌谷町・涌谷公民館)

## (2) 道路整備・管理について

### ① 国道108号 岡台道路改良事業<大崎市鳴子温泉岡台地内>



着工前



完成

国道108号は、宮城・秋田両県を結び、物流や観光・交流等に重要な路線であるとともに、緊急時には救援・支援路としての役割を担います。

大崎市鳴子温泉の岡台地区では、幅員が狭く、冬期間は除雪作業による路肩の堆雪により、車両のすれ違いが難しい状況なため、現道を拡幅する工事を実施しています。今年度は、片沢橋付近の約800m区間が完了しました。

お問い合わせ：道路建設第2班 0229-91-0748

### ② 都市計画道路 稲葉小泉線 における用地買収着手<大崎市古川竹ノ内地内>

都市計画道路稲葉小泉線は、国道347号から大江川捷水路と並行して北上し、国道47号に至る路線であり、国道4号を補完する路線として、古川市街地における4号バイパスの渋滞緩和や、東北縦貫自動車道古川IC及び大崎市民病院へのアクセス路線としての役割等が期待されています。

今年度は、関係住民等へ事業スケジュールや用地等に関する説明会を開催するとともに、事業用地の買収に着手しました。



用地説明会の開催状況

お問い合わせ：道路建設第1班 0229-91-0735

### ③ 舗装補修

快適で安全な通行の確保を図るため、路面の轍(わだち)やクラック等が顕著な箇所では舗装補修を推進しています。今年度は、国道347号大崎市古川飯川地内をはじめ、6路線7箇所において舗装補修を完了しました。

お問い合わせ：道路管理班 0229-91-0734

(国)108号 大崎市鳴子温泉鬼首大森平地内



秋田県

(主)古川佐沼線 大崎市古川西館地内



(主)古川登米線 大崎市古川狐塚地内



山形県

(国)347号 加美郡加美町門沢地内



(国)347号 大崎市古川飯川地内



(主)利府松山線 大崎市松山下伊場野地内



(一)鳴瀬南郷線 美里町木間塚地内

本掲載内容等について、お気づきの点やご不明な点などがございましたら、お気軽にお問い合わせ願います。



宮城県北部土木事務所 企画担当チーム

〒989-6117 大崎市古川旭四丁目1-1

電話: 0229-91-0735 FAX: 0229-22-5260

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-dbk/>